

指定管理者モニタリング評価シート

評価対象年度： 令和 3 年度

施設所管課： 観光文化施設 課

1 施設の概要

施設名	唐津市末盧館	所在地	唐津市菜畑3359番地2
設置目的	国史跡菜畑遺跡を後世に伝えるとともに本市及びその周辺から出土した資料の保存とその活用を図り、もって市民文化の向上に資するため唐津市末盧館を設置する。		
休館日	月曜日（祝日の場合は翌日） 12月29日から1月3日まで	開館時間	午前9時から午後5時まで

2 施設の利用状況

説明	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	利用状況の傾向と増減の要因
利用者数	3,332 人	2,721 人	1,522 人	1,891 人	昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響で減少した。また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2年8月20日から9月12日まで休館した。
事業参加者数	1,538 人	831 人	440 人	872 人	田植祭、収穫祭とも一般の参加を中止し、規模を縮小しての開催となったが、企画展、子供が参加する体験教室等を多く開催し、参加の機会を提供したことで昨年より増加した。

3 指定管理者の概要

指定管理者	名称	公益財団法人唐津市文化事業団		
	所在地	唐津市西城内5番26号		
	代表者	理事長 今村 繁 公		
指定期間		平成 29 年 4 月 1 日 ~ 令和 4 年 3 月 31 日		
指定管理者の業務内容		<ul style="list-style-type: none"> 末盧館の利用の許可に関する業務 末盧館の施設及び設備の維持管理に関する業務 前2号に掲げるもののほか、市長が必要と認める業務 		
事業の実施状況		<ul style="list-style-type: none"> 唐津の歴史文化企画展 谷口古墳の史跡指定から80年、横田下古墳は70年を記念して、4世紀後半から5世紀にかけての唐津の古墳の紹介をした。期間中に横田下古墳の見学会を予定していたが、感染症拡大の為、4月に開催した。 菜畑ゼミナール（講座） 地域の歴史・考古の分野をテーマにした歴史講座を開催。 古代人体験教室 勾玉や石包丁づくり、染色体験など年間を通じた体験学習の開催。 稲作発祥祭 田植体験、抜穂体験の実施。但し、感染症蔓延防止の為、式典、伝統芸能披露、一般の参加は中止とした。 GW、夏、冬休みWorkshop 来館者向けに短時間で体験できるタペストリーやストラップ作成、弓矢作成等の体験等、様々なイベントを実施した。 		
職員の配置状況	常勤 正規職員、フルタイム等	非常勤 嘱託・臨時職員、パート等	常勤の内訳	
	2 人	1 人	事務員 1 名 学芸員 1 名	

4 収支状況

単位：円

	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	増減額
収入 (a)+(b)+(c)+(d)	13,631,151	15,781,514	-2,150,363
指定管理料 (a)	13,209,000	12,931,000	278,000
利用料金収入 (b) ※利用料金制の場合のみ			
自主事業収入 (c)	422,151	2,850,514	-2,428,363
参加料収入	20,800	72,100	-51,300
助成金・補助金	348,178	2,385,000	-2,036,822
売店販売収益繰入金	53,173	393,414	-340,241
—			
その他収入 (d)			
支出 (e)+(f)+(g)+(h)+(i)	13,677,034	15,781,514	-2,104,480
人件費 (e)	7,646,502	7,528,080	118,422
施設管理費 (f)	5,608,381	5,406,454	201,927
光熱水費	1,354,789	1,355,311	-522
修繕費	231,143	130,680	100,463
広告宣伝費			
委託料 (再委託)	2,391,905	2,130,697	261,208
保険料	1,060		1,060
消耗品費	186,747	159,968	26,779
その他	1,442,737	1,629,798	-187,061
事業費 (g)	422,151	2,846,980	-2,424,829
うち自主事業に伴う経費	422,151	2,846,980	-2,424,829
施設使用料 (h)			
その他支出 (i)			
収支	-45,883	0	-45,883
利益配分額	0	0	0

※2年度の収入について、計上項目の一部見直しを行いました。

※2年度の支出について、計上項目の一部見直しを行いました。

5 項目別評価

評価項目		自己評価	市の評価
1 業務の履行状況			
(1) 運営業務（全般）			
①運営管理	条例、協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守しているか。	適	適
	使用料または利用料金の徴収、減免手続き等を適切に行っているか。	適	適
	施設の利用者数、稼働率を適切に管理しているか。	適	適
②人員体制	施設の管理運営に必要な資格、経験等を有する人員が過不足なく配置されているか。	適	適
	従業員の労働条件は適正であるか。	適	適
	従業員の資質向上のための指導、研修等を適切に実施しているか。	B	B
③管理記録	業務日誌等を適切に記録し、保管しているか。	適	適
④連絡調整	協定書等に定めた各種報告書を、期限内に市に提出しているか。	適	適
	市や関係団体等との連絡調整を適切に行っているか。	適	適
⑤危機管理	基本協定に定めるリスク分担に従い、適切な対応を行っているか。	適	適
	緊急時に直ちに措置を講じ、市に報告を行ったか。	適	適
	緊急時の連絡体制、マニュアルを整備し、定期的に研修、訓練等を行っているか。	A	A
⑥個人情報保護	個人情報保護に関する法令等を遵守しているか。	適	適
	施設利用者等の個人情報の漏洩、滅失等の事故防止策を講じているか。	適	適
(2) 維持管理業務			
①維持管理	省エネルギー、省資源など環境への配慮がなされているか。	適	適
	施設や設備、備品等の保守管理（点検や修繕等）を適切に行っているか。	A	A
	清掃、警備、衛生管理その他施設管理に必要な業務を適切に行っているか。	A	B
②再委託	再委託にあたり、事前に契約方法及び契約事項を市に報告しているか。	適	適
	再委託先からの業務報告を受けるなど、履行状況を適切に管理しているか。	適	適

2 サービスの質			
(1) 運營業務（利用者対応、情報発信等）			
①利用者対応	施設利用者に対して、設備、備品等を適切に提供しているか。	適	適
	施設の利用許可、案内等を迅速かつ適切に対応しているか。	適	適
	施設利用者への言葉使い、態度、服装等、接遇が適切であるか。	適	適
②苦情等対応	要望、苦情等を整理し、遅滞なく市に報告しているか。	適	適
	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応しているか。	A	B
③利用者アンケート	適切な利用者アンケート調査を実施し、その結果が良好であるか。	A	B
	利用者アンケートの結果に基づき、適切な改善策を講じているか。	A	B
④施設の利用状況	施設の利用者数、稼働率等に関する目標を達成しているか。	B	B
⑤情報発信	利用者の利便性向上のため、ホームページ等の更新、管理を適切に行っているか。	適	適
	各種媒体を利用し、事業、イベントの開催案内等の広報を適切に行っているか。	A	A
(2) 事業実施状況			
①事業実施状況	事業計画に定めた事業を適切に実施しているか。	適	適
	施設の設置目的に沿った自主事業を実施し、市民サービスの向上が図られたか。	A	A
(3) 地域貢献			
①地域貢献	地元雇用を積極的に行っているか。	適	適
	地域の意向に沿った運営や、地域活動への参加・協力を行っているか。	A	B
	地元事業者からの物品調達など、地元を活用した運営がなされているか。	A	B
3 継続性・安定性			
(1) 運營業務（経理事務、予算執行等）			
①経理事務	専用口座、帳簿等を備え、指定管理業務に係る経理区分が明確に整理されているか。	適	適
②予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行しているか。	適	適
③取引状況	取引先等の関係業者との関係は良好であるか。	適	適
(2) 収支状況			
①経費縮減	施設の管理運営に係る経費が縮減されているか。（経費削減に努めているか。）	A	B
②収入増加	収入増加のための取り組みがなされているか。	A	A
③収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当であるか。（目標を達成しているか。）	A	B

※ 上記の評価項目、評価の視点は標準的なものであり、施設の特性に応じて調整（追加、削除）を行うこととする。

6 総括評価及び総合評価

総括評価	1 業務の履行状況	B	指定管理者の管理運営に対する評価・コメント 田植え祭、歴史文化企画展、ギャラリートーク、古代人体験教室の開催など、積極的な自主事業が行われた。また、市内を中心とした小中学生の歴史学習など多くの利用があり、国史跡菜畑遺跡を後世に伝えるとともに地域の文化活動の拠点として積極的な自主事業、文化行事を行い、市民の歴史、文化の向上に努めている。
	2 サービスの質	A	
	3 継続性・安定性	B	
総合評価		B	